

**栄光園だより**  
第114号

2019年1月31日発行  
発行  
社会福祉法人 栄光園  
別府市南荘園町3組  
〒874-0904 電話 (23) 2827  
振込口座 01930-2-20748  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

# 昭和・平成・そして…

監事 吉本安宏

緑の丘の赤い屋根

とんがり帽子の時計台

鐘が鳴りますキンコンカン

メーメー子山羊も啼いてます

風がそよそよ丘の家

黄色いお窓は俺らの家よ

この歌詞を読んで、現在70歳代後半から80歳代前半の年齢の方々は自然にメロディーが口をついて出るのではないのでしょうか。

昭和22年7月から790回にわたり、放送されたラヂオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌です。兵役から復員した青年が弟を探す過程で、空襲で家も親も亡くした子供たちが浮浪児として酷い生活を送っている姿を見て、信

州の田舎に家を建てて共同生活を送る中で子供たちが頑なな心を開き明るく成長してゆく物語です。栄光園のスタートもほぼこの物語と同じです。草創期にご苦労された不老町教会

野町良夫牧師、理事長を務められた小郷虎市小福ご夫妻が活躍された時代です。実際私たちの身の回りにもそのような境遇の子供がいましたが、決していじめたりすることは無く貧しい時代でしたが自分たち以上に気の毒な境遇にあることを理解していました。栄光園にも確かキヨタ君モリグチ君2名の同級生がおり、「俺は自分の年齢が本当は何歳か分からない」と寂しそうに語ったのを今も記憶しています。

あけましておめでとうございます

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。本年も相変わりをませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2019年 正月

- 社会福祉法人 栄光園 理事長 江口 敏一
- 児童養護施設 栄光園 施設長 江口 敏一
- 乳児院 栄光園 施設長 熊谷登喜子
- 青山保育所 所長 本庄 智宏
- 野口保育所 所長 本庄 智宏
- 職員一同

虎市・小福ご夫妻の跡を取って園長を務めた小郷穆子さんは作家の目で戦争を見つめていました。若くして命を捧げ散っていった特攻隊の若者に対しては女学生の様な哀悼の心をお持ちでした。テレビや「恐父論」の

作者として活躍の阿川佐和子さんの父で読売文学賞を受賞した阿川弘之氏の著書「雲の墓標」その中に登場する宇佐の掩体壕、柳ヶ浦の特攻隊基地、別府の街並、そして私が学生時代に、レマルクの「西部戦線異状なし」と「雲の墓標」に描かれた戦争に駆り出されたドイツと日本の若者を比較してレ

ポート作成したことを話すと、大変話が盛り上がった記憶があります。

戦後の昭和の時代は戦争の負の遺産の整理、復興、繁栄へと進みました。栄光園は、負の整理、復興の中で大きな働きを残しましたが、繁栄、バブルの時を迎え、平成へと続く中で、社会環境も急激に変化し、それに応じて乳児院、保育園と新しい分野に進出してまいりました。昭和20年より平成30年まで約74年にわたって続く戦争のない国、世界に誇れる平和、次の時代も平和の中の栄光園でありたいものと願っています。



# 児童養護施設

## キャサリンホーム

児童指導員 衛藤 彩香



### 聖劇の主役

施設の大きな行事の一つであるクリスマス祝会が今年も行われました。今回、私は聖劇の責任者になりました。練習スケジュールの調整や衣装等の準備もあり、約1ヶ月半があつという間に過ぎ、本番を迎えました。

聖劇を演じる子どもたちの中で、私が小学校2年生から3年間担当させて頂いている男の子がいます。普段の生活ではとても活発で身体を動かすことが大好きな子どもです。今年その子が聖劇でヨゼフ役を演じることになりました。練習を始めた当初は動きや台詞を忘れていたり、ふざけてしまうことがありました。しかし練習を重ねていくにつれ、堂々とした動きになり、台詞の表現もよくなりました。

クリスマス祝会本番では緊張感が私にも伝わるほどでしたが、ヨゼフ役を見事に演じ成功を収めることができました。ホームでの様子とはまた少し違う逞しく成長した姿をみることで感じました。今回の経験を自信に繋げてほしいと願っています。



## ウエストホーム

児童指導員 大野 将也



### 2019年の抱負

ウエストホームには6名の中高生が在籍しており、今年の4月からはホーム児童の全員が高校生となります。自立を目前に控えているためか、子どもたちとの会話の中でも卒園後の話や、将来の仕事について話をする機会も多くなってきました。

子どもからは「卒園してからみんなと一緒に住めばいいやん」「卒園したら毎日ここ(栄光園)にご飯食べに来るけん」などと冗談交じりの返事が返ってきますが、子どもたちも自立に向けて少しずつ、心づもりをしているようにも感じています。

中高生の支援にあたる中で、自立に向けて残された時間は短く、それぞれに様々な課題を抱えており、支援に行き詰ることも多々あります。それでもホーム職員が一丸となり、チームアップローチで子どもの支援に向き合っていきたいです。

私自身、今一度原点に立ち返り、子どもの自立に向けて少しでもいい影響を与えられる素敵なモデルとなれるよう、2019年は猪突猛進で突き進んでいこうと考えています。

## ムラカミホーム

ホーム長 土谷 聡一



### この一年思い出

昨年は3月に卒業生を送り出し、春から新しい仲間を迎えて、新年度が始まりました。

皆、仲良くなるまでには時間もかからず仲良く過ごすことができましたが、トラブルもあり職員も落ち着かないスタートから始まりました。しかし、学校行事やホームでの行事を通して少しずつ落ち着き、夏のキャンプでは、川での散策やBBQなど楽しいことをたくさんすることができ、子どもたちの笑顔がよく見られるようになりました。運動会の練習も頑張っており本番ではいい表情で競技を頑張っている姿がとても印象的でした。また渡辺貞夫さんのコンサート出演やクリスマス祝会の練習など子どもたちは皆よく頑張っており子どもたちから学ぶことが多い1年だったと感じています。子どもたちの協力する姿などとても感銘を覚えました。まだ少し落ち着くことが難しい子もいますが、暖かいホームの雰囲気作りが心がけ、落ち着いて楽しく過ごすことができるようにしていきたいと思っています。

## マツモトホーム

保育士 前原 彩



### クリスマス祝会を通じて感じたこと

私は女子中高生の出し物を担当しました。

ある中学生の女の子がダンスの練習で他の子について行けず「もうできない」と泣いて話しました。それまでの練習は、「大丈夫」と言って積極的に体を動かさず、他の子との練習に取り組む気持ちの温度差が「できない」に表れていました。

職員で話し合い、マンツーマンでの練習を取り入れると、少しずつ変化が見えてきました。

できました。できるようになり褒められるとダンスが楽しくなったようで、表情がとても良くなりました。その後は練習には誰よりも早く参加し、「ここが分からない」と自ら職員や他の子に聞いて頑張る姿が見られるようになりました。そこからのダンスの飲み込みは早く、本番でもとても上手に踊ることが出来ました。祝会が終わってたくさんの人に褒められ「ダンスをして良かった」と、とても誇らしげでした。

子どもの気持ちや前を向いた時の成長速度に驚きつつ、成功体験を得られたことで繋がる自信の大切さを感じることも出来ました。

## オゴウホーム

保育士 平田 めぐみ



### 2018年度クリスマス祝会を通して

私は聖劇グループの担当をしました。今年度は中高生2名と小学生10名、職員1名の計13名で取り組みました。中高生2名は自ら手を挙げてくれたこともあり安定感のある姿を見せてくれました。

小学生は取り組む姿勢や台本を覚える速さも一人ずつ違い、練習中は集中できず気が散ってしまったり大きな声が出せない児童も多かったです。それでも根気強く練習を繰り返していると職員の声掛けをしっかりと聞き意識が変わっていく様子が見えたりと分かってきました。

また今回は小道具や衣装の見直しも行っています。私は衣装を担当し思いを込めそれぞれの役が引き立つように工夫しました。マリア様の衣装は少し大きすぎたのが気になりましたが、ス



ページ上では役に合っていて安心してました。

大変なことも多かったですが普段は関わることが少ない児童と関わることや子どもたちが成長している過程に立ち会えたことが何より嬉しかったです。

### ノマチホーム



児童指導員 左甲斐 由紀子

### クリスマス祝会をおえて

12月、今年度も栄光園クリスマス祝会が行われ、今回は新しい取り組みとして中高生も有志を募りステージ発表に挑みました。部活動や塾などがあり、グループのメンバーが揃わないことも多く、限られた時間のなかで約1カ月半練習に励みました。思うようにいかず諦めそうになったり涙を流したり、新たな挑戦に意欲的だったり、今回が最後の祝会参加となるため盛り上げ楽しもうと意気込んだり：様々な思いがあり迎えた本番。緊張のなか、何度も練習を重ねた成果が発揮され、中高生らしく気迫あふれるステージ発表を成功させ、お客様をはじめ、子どもたち、職員もみんなが笑顔になる時間を作ることが出来ました。発表を終えた子どもたちは成功させることが出来た喜びや達成感を感じ、また発表を見た子どもたちも「来年は自分も」と刺激を受ける姿が見られました。

今回の中高生の取り組みが何かに挑戦することの楽しさや素晴らしさを改めて感じるきっかけとなり、今後も続いていければ嬉しく思います。

## 入所児童の自立に向けた取り組み

### 就農体験「きつきプロジェクト」

職業指導員 藤内 貴章

今年度子どもたちに体験してもらった二つの取り組みをご紹介します。

最初は高校2・3年生を対象とした一人暮らし体験についてです。長期休暇を利用し敷地内にある生活訓練棟で2年生は一泊、3年生は二泊の日程で実施しました。

今回初めての子どもが多かったので先ずは一人での生活を体験してもらおうことや食事作りに重きを置き過ぎないようにしました。

体験中は普段と違い静かすぎる環境に戸惑う姿や空き時間に自家製のおやつ作りに挑戦する姿などそれぞれに違った様子を見ることができました。

終了後には期間中に記入してもらった日誌を基に振り返りを行いました。

不安だったと話す子どもや、内容が物足りなかったと話す子どもなど感想は様々。その遣り取りで感じたのは各々の状態に合わせた配慮が必要なこと。また普段の生活の中でホーム職員の動きを良く見ていることです。使用した調理用具を調理の合間に洗うよう心掛けたり、盛り付け方を工夫したりと細かな所作のモデルは職員だったようです。

またある子どもは生活訓練棟から部活動のため登校。朝食の調理時間を考慮し普段より1時間以上早く起床したとのことで働く人の大変さや職員の有難さを口にしていました。

この取り組みを継続しながら、可能な限り子ども

たちの状況に応じてプログラムを組み立てていければと考えています。

もう一つは就農体験活動「きつきプロジェクト」についてです。

杵築市とNPO法人おおいた子ども支援ネットの皆様による支援での取り組みが始まり3年目を迎えています。当園からの参加者も年々増え、今年度は5名となりました。

中・高校生を中心として今までにナス、いちご、ゆず、小ねぎ、輪菊、茶など様々な農産物に触れ、多くの事業者の方々にお世話になりました。

初めは不安や自信のなさから積極的になれずにいた子どもたちも経験を重ねる毎に生き活きと取り組めるようになってきています。

私自身も一緒に活動へ参加することで多くの気づきを得ることが出来ました。

食育の面から実際の生産方法を学ぶ。農業を通じ社会で活躍されている方々の生き方や考え方に触れる。これらは子どもたちの価値観形成にも影響していることを実感しています。

何よりこの活動を通して少しでも農業に興味をもつてくれること。例えば就農に繋がらなくても働くことを学ぶ機会となることを願ってやみません。

どちらの取り組みも子どもたちが自立に向けて将来を意識し経験を積んでいく大切な機会です。退園までの限られた時間の中で準備が必要な内容は多岐に渡ります。多くの体験を通して学び考えることのできる仕組みを、より一層充実させていきたいと考えています。



# 乳児院

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願います。

今年も全員(子どもも大人も)元気で新年を迎えることができ、これからも子ども一人ひとりが心身共に健やかに成長できるよう、職員一同協力して丁寧な養育をしていこうと思います。

## クリスマス祝会

12月15日にクリスマス祝会が行われました。子どもたちは、大好きな「わくお」の曲にのって手や足を動かしていました。練習とは違い、当日は大勢のお客



さんが観ている中、とても緊張をしていますが、1人も泣くこともなく最後まで踊ることができました。

日頃は、幼児番組で音楽が流れると喜んで踊りだしたり、「もう1回」と言って催促したりと練習を楽しんでいました。

子どもの体調が悪く、全員そろったの練習ができない日もありましたが、当日のかわいらしい笑顔と衣装で観客の心を癒すことができたのではないかと思います。

## 年賀状から伝わる子どもの成長

今年も乳児院には、退所した子どもたちの家族からたくさん年賀状が届きました。

着物や袴姿でバッチリきめた七五三の写真や家族で遊びに行った時の笑顔の写真、子ども本人が書いたと思われる絵や文字が添えてある年賀状もあり、年の始めから子どもたちの成長を感じて嬉しくなりました。

乳児院における支援は、入所中だけではありません。家庭に帰った子どもや里親と新しい生活をスタートさせた子どもたちが、家族の愛情に包まれて安心して生活できるよう、家庭訪問や電話相談で家族の不安に寄り添って支援したり、里親同士で悩みを相談できるような里親きつさを催したりといったアフターケアも大切な役割です。



退所して数年経った今でも、乳児院のことを思い出して年賀状で近況を知らせてくれるのは、アフターケアを通して、子どもだけでなくその家族とも絆が深まっていったからではないかと思えます。

子どもたちの幸せに思いを馳せながら、「ともに過ごした時間が今に繋がっている」ことを実感したお正月でした。

## 青山保育所

### 秋の遠足



きりん組、ぞう組のお友だちはバスに乗って杵築市海浜夢公園に遠足にいきました。行きのバスの中では「なぞなぞクイズ」大会で大盛り上がりでした。公園に着くと大型遊具で大興奮で遊んでいましたよ！元気いっぱい遊んだあとは、待ちに待ったお弁当タイム！お家の方の愛情たっぷりのお弁当を美味しく食べて、大満足の様子の子もたちでした！帰りのバスでは疲れたようでもみんな眠っていても静かでした(笑)

うさぎ組、ぱんだ組の1歳児、2歳児のお友だちは、南立石公園に行ってきました。子どもたちは元気いっぱい、どんぐりや木の実、落ち葉などを拾ったり、フラフープやボール遊びなど、好きな遊びを思いっきり身体を動かして遊びました。

うさぎ組0歳児は、栄光園グラウンドに行きました。広いグラウンドで、探索をしたり、保育士と一緒にカラーパ

ルーンやボールで遊んだりしました。青空の下で食べるお弁当はおいしいよ。うでパクパク食べていましたよ。



## お家の方とデイキャンプ

「あと何回寝たらデイキャンプ？」とワクワクしながら待っていた5歳児の子どもたち。お家の人と一緒に湯布院の山荘「四季」へデイキャンプに行ってきました。

現地に着くと、腹話術の人形「さんちゃん」のお話が始まり、子どもたちは大喜びでキャンプ場での過ごし方などを聞いていました。その後は、「トトロ」と「ハイジ」の部屋へ行きました。2つの部屋に行くためには階段を上がらなければならず、その階段は梯子のような形だったため、スイスイ上がる子もいれば、見慣れない階段に少し怖かったのか大人に支えてもらいながら恐る恐る上がる



姿も見られませんでした。無事に部屋に着くと、ベッドに寝てみたり、ふわふわのじゅうたんの上に寝転がったりと大はしゃぎでした！また、戸外では園庭にないアスレチックに子どもたちの目はキラキラ！思う存分に身体を動かしながら夢中になって遊んでいました。

そして、食事の準備時間では3つのグループに分かれ、お家の人と一緒に楽しくカレーライスやチョコバナナを作りました。カレーをいっぱい食べたくてお皿に盛ったり、おかわりをしたりと、戸外で食べる食事は格別だったようです。

最後は子どもたちが一番楽しみにしていた「おばけの部屋」へ行きました。入る前に合言葉「勇気の印をください！」と大きな声で練習をしていたのですが、いざ部屋に入ると泣き始めてしまい、前に進めず、保育士と一緒に進んだ子、勇気を出して入ったが、上手く声が出せずメダルの場所の前で立ち往生



してしまふ子、最初は怖がっていたものの、泣くことなく、大きな声で合言葉を言つてメダルをもらふ子など。普段元気の良い子が弱気になったり、普段大人しい子が強気だったり、また新たな一面を見ることができました。そして全員が勇気を出して無事に勇気の印のメダルをもらうことができ、その後はずっと肌身離さず持っていた子どもたちでした。この日の経験が、子どもたちとお家の方にとって良い思い出になればいいなと思います。

### クリスマス会



ぞう組のお友だちは、「あわてん坊のサンタクロース」「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」などクリスマスの歌を歌ったり、クリスマスに関する絵本を読んでもらったりしてクリスマス会を楽しみに待っていました。

クリスマス会当日は5歳児のお友だちの楽器を使ったダンスの発表がありました。お友だちは少し緊張しているようでしたが、発表が終わると会場からはたくさん拍手をもらうことができ、とても嬉しそうなお友だちでした。また、皆でクリスマスの歌を歌った後、保育士のフォトシアターを観ました。最後にサンタクロースからビデオメッセージがあり、その直後にテラスにふと目を向けるとサンタさんが歩いていて、子どもたちは大興奮!! すぐにサンタさんは帰ってしまったのですが、玄関前に大きなクリスマスプレゼントが置かれていました。早速、お昼寝後に皆で夢中になって遊んでいましたよ。  
給食はバイキングで、みんなの大好きな物がたくさんあり、おやつには自分た

ちでトッピングしたケーキを食べました。美味しいものをたくさん食べるのが出来、幸せな1日になったようです。



### おじいちゃん、おばあちゃん餅つき会

子どもたちはお餅つきに向け、小麦粉粘土をお餅に見立ててお餅つきの練習をして、当日を迎えました。練習ではテンポよくついていたのですが、本物の杵はその重さとお餅の粘り気から、お餅をついたらなかなか杵を持ち上げられない姿も見られました。みんな夢中でお餅をつくことが出来ました。お餅つきが終わると次は餅を丸めたのですが、伸びる餅を見て「わあ〜すげー伸びた!!」などお餅の粘りに驚いていました。  
その後お手伝いのおばあちゃんに教え

てもらいながら一緒に餅丸めをしました。おばあちゃんの手際の良さに子どもたちも見とれていました。つきたてのお餅はとても美味しかったです。たくさんおかわりをして食べていましたよ！また来年もおじいちゃんとおばあちゃんと一緒に餅つきしたいね。



### 野口保育所

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願致します。昨年の秋から冬にかけての行事を、少しずつですが紹介したいと思えます。

### 親子バス遠足

食育の一環として6月に3・4・5歳児と一緒に農業文化公園にて芋の苗植えをしてから5ヶ月。。



今年も天候にも恵まれ大型バスに乗って芋ほり遠足に行くことが出来ました。

スタッフの方の説明を聞き、いざ芋ほり開始！ 手や服を汚しながらも大きなお芋、小さなお芋、色々な形のお芋がたくさん土の中から出て来て大興奮の子どもたちでした。

お弁当を食べたり、公園でたくさん遊んで楽しい芋ほり遠足になりました。



### 保育参観

今年度2回目の参観日で、第2水曜日と土曜日に参観日を設けました。6月の保育参観の様子より成長した日頃の子どもたちの様子が見れ楽しむことが出来たようです。お仕事で忙しい保護者の方に、保育園でどのようにわが子が過ごしているのかを少しでも見せてもらえ、私たちが嬉しく思います。



### 発表会

1年間の集大成ともいえる発表会日々保育園で生活する中での経験や運動会などの行事を経験した子どもたちは、ぐんぐんと成長し動きも活発になりました。小さいながらも友だちと協力したり最後までやり遂げようとしていたり、当日は大勢のお客さんの前でも緊張しながら最後まで踊ったり歌ったりと子どもたちの心も身体も成長した姿がたくさん見られた1日でした。

### もちつき

毎年恒例のお餅つき。大きいクラスの子どもは前日にもち米をといで準備をしたり、当日はお友達とお餅を搗いたり、「ぺったんこ〜ぺったんこ〜お餅を搗きましょ〜ぺったんこ〜」と歌って応援したり、大忙しでした。給食が食べれないほどのお餅をたくさん食べ、昔ながらの伝統ある餅つきを子ども達と経験する事が出来て、またひとつ楽しい思い出が残りました。



### クリスマス会

子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会！ 保育室や廊下・窓に飾られたクリスマス一色の雰囲気にとどもたちは毎日ルンルンな様子でした。

当日は、鈴の音を鳴らしながらサンタクロース登場でみんな大興奮。サンタクロースさんから、一人ずつプレゼントをもらい子どもたちもとっても嬉しそうでした。サンタクロースさん遠い所からありがとうございました。(サンタさんは斉藤牧師でした)

子どもたちはクリスマスランチや3時のクリスマスパフェ&ケーキを堪能し、忘れられないクリスマス会になりました。



### 全国保育士会研究大会に参加して

昨年の11月に「全国保育士会研究大会」にお手伝いとして参加しました。毎年行われるこの大会の開催県が今年は大分県になり50年に一度、一生に一度と言われているので、大分の保育士たちが集結し、全国の保育士さんたちを迎え入れ打ち合わせなどを念入りにし、無事に研修を終わることが出来ました。

お手伝いとして参加して、全国の保育士さんの質の高さや向上しようとする気持ちが高いことを改めて実感しました。質疑応答も時間が足りないくらいで、走ってマイクをつないだり、手が上がらない時間がないほどでした。子どもたちのことや自分の保育観などたくさんの質問が飛び交い保育に積極的なんだと感じました。子どもたちのことを思い、積極的に日々頑張っていかなければならないと研修に参加し貴重な事を学びました。

今年度3月まであと少し。1年を締めくくることがまだまだ控えています。子ども一人ひとりとしっかり向き合い、子どもたちが毎日楽しく過ごせるように職員全員で頑張っていきたいと思っています。

本年もよろしく願います。  
所長 本庄 智宏



### 社会福祉法人栄光園 職員の採用

12月 採用

乳児院

吉田 由紀

(保育士 12月1日付)



ブックガイド

阿部志郎 語り  
「信念に、生きる」  
「隷属から自立へ」

燦楽出版社 2018年6月

阿部志郎先生は、戦後日本の地域福祉の巨匠と位置づけられています。本書は70年に近い福祉・教育活動の経験を経た歩みの中で、後輩の私たちに是非とも伝えたいとの思いに駆られて記した珠玉の講話集です。

語りかけるような温かみを感じる本文は、昨年2月横須賀基督教社会館にて大江亮一氏のインタビュー結果を文章化したものです。

本書でも引用されているようにマルチン・ブーバーは「人生は出会いで決まる」と言われました。人は誰でも飛躍または方向転換する人生のクリックポイントがあります。誰とどのように出会い、その時、その出会いをどのように感じ、捉え、それを自己変革の糧としたか。阿部先生の生き方を参考に、自分の人生を意味あるものにし、と思っている全ての人がお勧めします。

第一部「日本の過ち」、第二部「若い人生の宿題」、第三部「出会い」、第四部「福祉を文化に」、第五部「目標を持つ」の5部構成になっています。

戦前戦後の混乱期を生き抜いてきた経験から、戦争の終結は、加害者が罪を告白し、赦しを求め、相手がそれを受け入れる和解なくしてあり得ないが、それは大変難しく、未だに出来ていないと指摘しています。再び戦争の過ちを犯すことの無いように、権力に服従するままの生活から、主体的に考え、迷い、疑い、悩んで歩く生き方を求めています。戦後の生き方の契機に、シュバイツァの「文化が衰弱したから戦争が起こった」との言葉に触発され、新しい文化を作るために働こうと大学に戻られた著者の経緯が述べられています。

人生の質を高める生き方について、著者の人生観、価値観構築に大きく影響を与えた人との出会い、書籍との出会いを具体的に示しています。そこで得た体験からどのように考えたか、自分の生き方へと昇華したかがわかります。ウエスレイの「稼ぎ・儲け・与えよ」の言葉、米山梅吉のように全てを捧げる生き方へ惹かれた体験、戦後の目標喪失・虚脱状態から回復に向かわせた読書の有効さが示されています。上田辰之助、トインビー、井深八重、岩下壮一、エベレット、トムソンなど若き日の出会いにより自分の人生が変えられたことから魂の目で見る感性の大切さも述べられています。

福祉にかかわる際、相手の意向を尊重する謙虚な姿勢が大切であり、同時に主体的に支援する自分の生き方も問われます。実際、支援する一人一人の生き方、取り組みは異なりますが、それらは補いあって一つの体の機能のように統合的な支援だと考えることもできます。このように社会を支え、福祉文化を多面的な視点からとらえて形成することが私たちに求められています。

人生の終わりに向かう老いについては、孤独への忍耐と孤立への支援は必要であり、ブラウニングの詩「我年と共においゆかん。されど未だ最善は来たらず」とあります。いくら年をとっても最善を追って、受け身でなく生きよと生きていく目標や人生への宿題を示されています。

活字も大きく平易な文章で大変読みやすいのですが、含蓄のある内容で深く心に染みわたりました。

江口敏一記(キリスト教社会福祉学研究誌より)

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となつていてることをいつも嬉しく思います。

この支援の核になつて居るのが「賛助会」です。現在、松本小児科医院の理事長で院長でもあられ、現在囑託医として栄光園を支えていただいております松本重孝先生が賛助会の会長をお引き受けいただいております。

世代を超えて栄光園をお支えいただいております皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたします。

2018年10月1日より2018年12月31日まで

賛助金

- 芦刈和夫様 白杵市
- 安部道人様 大分市
- 安部保様 別府市
- 飯田法子様 佐伯市
- 宇戸美和子様 大分市
- 金谷正明様 大分市
- 鎌田宏子様 大分市
- 木村洋子様 大分市
- 吉良頌三様 大分市
- くろーばー薬局様 横須賀市
- 貞閑公認会計事務所貞閑孝也様 別府市
- 袖潤三枝子様 大分市
- 立花且子様 大分市
- 時枝喜久生様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 西宮市

一般寄付

- 永尾福康様 別府市
- 長谷川士郎様 別府市
- 久恒正典様 別府市
- 別府市不老町教会様 別府市
- 別府市不老町教会婦人会様 別府市
- 宮本妙子様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 山口巧様 別府市
- 浅海重子様 愛媛県西条市
- 足達健一様 大分市
- 石渡恵美様 別府市
- いとう循環器麻酔科クリニック 伊東浩司様 別府市
- 井上せつ子様 大分市
- 猪股通安様 別府市
- 岩田哲也様 大分市
- ウエルネの会 松本常圃様 別府市
- 下川寿作様 大分市
- くろーばー薬局様 別府市
- 川野武士様 別府市
- 小野弘様 別府市
- 後藤みどり様 別府市
- 阿部のな様 別府市
- 匿名様 別府市
- 波多野勝彦様 別府市
- ㈱一粒社ヴォーリス建築事務所様 別府市
- 亀井浩様 福岡市
- 北九州復興教会様 別府市
- 木本直美・芳子様 北九州市
- 公益法人SBI子ども希望財団様 別府市
- 佐藤産婦人科医院様 東京都港区
- 三栄建設工業株式会社 三浦勲様 豊後大野市
- 真愛幼稚園様 大分市
- 税理士法人プロパートナー様 別府市
- 第一生命労働組合大分支部様 大分市
- ちはらコーポレーション 大分市
- チャリティイコンペ参加者様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 別府市
- 友永丈一様 別府市



- 日本基督教団北九州復興教会様 北九州市  
 日本基督教団門司教会様 北九州市  
 日本競輪選手会大分支部様 別府市  
 別府教会様 別府市  
 別府市社会福祉協議会看護部会 別府市  
 新田イテ子他皆様 別府市  
 別府市溝部学園短期大学 別府市  
 幼児教育学科様 別府市  
 別府不老町教会様 別府市  
 松本重孝様 別府市  
 南立石地区社会福祉協議会 別府市  
 高木政嗣様 別府市  
 山川小百合様 中津市  
 山田清美様 大分市  
 (有)秋吉タタミ店 秋吉宏記様 別府市  
 (有)栄光建設塩月逸男様 大阪府富田林市 大分市  
 (有)工房輪葉葉様 大分市
- 自立進学資金**
- 安東秀典様 大分市  
 安達祥子様 別府市  
 岡口文明様 愛知県大府市  
 梶原康弘様 大分市  
 神鳥慶子様 中津市  
 南範子様 中津市  
 匿名様 別府市  
 匿名様 別府市
- 特別物品寄付**
- ランドセル Dream Creator様  
 ギター演奏・クッキー DycK Timothy Dayid様  
 お菓子 浅海重子様  
 衣類 芦刈和夫・利子様  
 イルミネーション 安部一郎様  
 クリスマスケーキ 安部純子様  
 梶原武淑様  
 松本常圃様  
 池田宏様  
 衣類 石川亜美様  
 バック 伊藤哲也(税理士法人)ロバート様  
 お菓子 上杉敏三様  
 みかん 上野貢一様  
 梨5箱 大分県なし研究会会長 梶原智俊様

- 米 大分県農業共済組合様  
 図書 大分県遊技業協同組合様  
 コップ 大津留亀寿様  
 ピアノ伴奏 影山由利様  
 ジュース (株)イーハトーヴ様  
 プチレターセット (株)佐藤断熱様  
 みかん (株)そのだ様  
 お菓子・ティッシュ (株)ジャムズ赤峰康平様  
 カレンダー (株)一粒社ヴォーリス建築事務所様  
 シール・DVD プレナスほっともっと様  
 お菓子 (株)ユーコー中村雄二様  
 お菓子 (株)ユーコーラッキーグループ南のヶ浜店様  
 衣類他 河合悦子様  
 衣類他 北江理実様  
 野菜 九州ろうきん・むぎの会様  
 お菓子・みかん 基督関係様  
 クリスマスプレゼント 釘宮英子様  
 クリスマスケーキ 工藤智美様  
 食品 蔵本けい子様  
 図書券 ケイヘアー様  
 衣類・タオル 原順子様  
 書籍・ティッシュ・マスク
- 招待・奉仕**
- 公益財団法人本公衆電話会様  
 さつま芋 河野篤 日本花の会様  
 米 河野フアーム様  
 ベビーベッドジョングルム等 後藤正巳様  
 衣類 齋藤咲代子様  
 お菓子 三栄建設工業株式会社 三浦勲様  
 創立70周年記念誌 社会福祉法人シオンの丘様  
 カレンダー ジャックデドワイラー様  
 ジグソーパズル、タオル 白沢史子大分交響楽団様  
 お菓子・リング 杉町圭蔵・千穂子様  
 米 笠口成男様  
 お菓子 ダイヤモンドグループ(株)様  
 玩具・リプロ 竹長イツ子様  
 みかん 田中喜久男様  
 あんこ 恒久妙子・日名子あつこ様  
 米 角田貴枝子様  
 洗剤・文具 中村里子様  
 お菓子・梨 中山田正春様  
 お菓子 南光物産(株)様  
 野菜・果物 二宮篤様  
 野菜 二宮洋典様

- 鏡餅 日本鏡餅組合様  
 お菓子 日本競輪選手会大分支部様  
 衣類 日本生命保険相互会社社組合様  
 2018年版年次報告書 日本水上学園様  
 トーンチャイム二式 ハーモニクス別府様  
 衣類 藤井未希様  
 お菓子 別府青年会議所様  
 餅つき食材・お菓子・みかん 別府中央ライオンズクラブ様  
 ピアノ 牧野整形外科医院様  
 アロマオイル 三浦亜子様  
 クリスマスカード 門司一徹様  
 クリスマスプレゼント 山上定浩様  
 クリスマスケーキ (有)TN保険ひろば様  
 お菓子 (有)ヴィーナスギャラリ別府様  
 幼児用椅子 (有)第一物産様  
 あかもく・寒ボラ (有)太幸丸様  
 みかん 吉川智美様  
 お菓子・お茶 陸上自衛隊別府駐屯地様
- 編集後記**
- 平成最後のの年玉等々、この4月まではすべてが平成最後なのかもしれません。子どもたちはもちろん平成生まれですが、職員の中にも平成生まれが多くなっています。子どもたちの養育に携わっていると子どもたちの果立つ次の社会が大変気になります。先日、世界の中で最も裕福な26人の資産の合計と経済的に恵まれない世界の人口の下位半分約38億人の資産の合計とがほぼ同じだとの新聞報道がありました。子どもたちにとっても、貧富の格差が少なく、生活の不安を覚えることなく日々明るく過ごすことのできる社会がくることを願うのみです。(敏)



**苦情等相談窓口**

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
 tel.0977-23-2827  
 fax.0977-23-7520  
 mail eikoen@live.jp

**賛助会員募集**

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。  
 ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。  
 賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。